



園長コーナー

『体・心で感じる』

夏は蝉の声で始まり、バッタ、カマキリ、アゲハチョウ・・・とたくさん虫取りができた夏。

園庭の菜園もたくさんの野菜ができて、苦〜いゴーヤもおいしい野菜に変身。泥んこ、水遊び、そして泥団子。子どもたちの活動量がピークになる頃、季節の変化が訪れました。大変な大雨でパタッと蝉の声がなくなり、夕方にコオロギの声に変わり、おいしい実を届けてくれていたイチゴやトマト、キュウリ、おくらも終わりをづけ、園庭も秋の準備が始まったようです。

かえで保育園の保育方針の一つ『のびのびとした環境の中で豊かな感性を育てる』は毎日の遊びや生活の中から育てていきたいと思っています。体験の中のちょっとした発見や言葉かけで子どもの世界は広がっていきます。

お日様にたくさんあたったお庭の土はとても熱くなります。水遊びで泥んこになった土に足を入れ「あ〜お風呂だ〜」「気持ちいい〜」から思わず泥んこにダイブ！

ビオトープから流れる水に手をかざし手から跳ねる水音を聞き、泳ぐ金魚や隠れるザリガニをじーっと見つめなんだか会話をしているかのように見ている乳児さん。心の中でいろんな思いが芽生えていることが感じられます。

子どもたちの発見や思い、不思議だな〜。どうなるのかな〜という感覚を見逃さず、導いていける保育を進めていきたいと思っています。

今、幼児を中心に子どもたちから出てきた声を広げて保育を組み立てています。「エコ」⇒発生したゴミや水に興味があり、大事にする⇒紙はどうやってできるか再生紙を作ったり、一年かけていろんな気付きを形にしていきたいと取り組んでいます。是非お家で今どんな事を楽しんでいるのか聞いてみてください。



○先生のつぶやき○

私がかえで保育園に来て2度目の夏が終わろうとしています。

今年も厳しい暑さとなり、汗だくになりながらも遊んでいる子どもたちの姿を見ると、夏がやってきたんだなと感じていました。

私はとても汗をかきますが、子どもたちは、時々びっくりするぐらい汗をかいている時があります。おでこから滝のように滴り落ちていたり、髪の毛も服もぐっしょり濡れていたり様々です。それ程真剣に遊んでいるという証拠なのでしょうか。

子どもたちの汗は、なんだかとても可愛く思えて仕方ありません。

さて、9月になり、徐々に暑さも落ち着いて、もうすぐ秋がやってきますね。

私は毎年、京都に紅葉を見に行きます。場所によって色々な種類の樹木があるので、いろんな場所に紅葉を見に行くのが楽しみです。同じ木でも葉っぱの色は様々で、同じものはひとつとしてないので、何時間でも見ていられるくらい楽しいです。また、近くで見ただけでなく、遠くから見ると緑色のところもあったり、赤でも濃い赤や薄い赤のところもあったりして、違った楽しみ方もできます。かえで保育園のモミジもきれいな色の変化が見られます。また、近くの公園などいろんな木々の色づきを子どもたちと一緒に見られるようになる季節を楽しみにしています。

田中 千尋



○行事予定○

<実習生が入ります>

・9/2(月)～9/14(土) 親和女子大学 1名

<ギャラリーの展示の紹介>

今年もかえで保育園のお友だちで作った作品が三井住友西宮支店のギャラリーに展示されます。展示時期は9/2～9/30まで展示します。どうぞ、見に行ってください。

<行事>

7日(土) 秋祭り 家族みなさんでお出かけください

20日(金)お弁当の日

2歳・幼児は親子遠足

0・1歳児は食べやすいお弁当をご用意ください

<子育て支援事業>

17・24日(火) 2回(10時から11時)

1か月からのベビーマッサージ

～環境コーナー～

・さつまいもの苗を植えました。

少し植える時期が遅くなりましたが、今年も

11月に収穫し、焼き芋で食べられるよう

大切に育てていきたいと思ひます。



だいちさんの育てた稲が大きくなってきています。すずめ対策をしてお米になるまでもう少し！



日	曜日	予定
1	日	
2	月	
3	火	音楽指導
4	水	
5	木	体育あそび
6	金	
7	土	秋まつり
8	日	
9	月	
10	火	敬老週間
11	水	絵画指導
12	木	体育あそび
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	巡回指導 敬老週間
18	水	
19	木	体育あそび
20	金	親子遠足(つぼみ・幼児)
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	誕生会
26	木	体育あそび
27	金	月例健診
28	土	
29	日	
30	月	絵画指導

～保健だより～

・食中毒に注意してください！
暑さも和らぎ食中毒が流行ってくる時期になりました。園でも十分に気をつけていきますが、ご家庭でも食中毒予防をお願いします。

～お台所から～

はじめまして。

ご挨拶が遅れました！7月からかえで保育園の一員になった調理師の金子愛美といたします。

原先生にかえで保育園の味を教わり、子どもたちにおいしい食事を作っていきたいと思っています！

私の得意な分野はお菓子作りです。おいしいおやつも考えていきたいです！

まだわからないことも多いですが、子どもたちの笑顔や声に力を貰いながら頑張ります！

保護者のみなさんも、これからよろしくお願ひします。

さて、“猛暑”ならぬ“酷暑”とも言われた暑い夏も少しだけ過ぎやすくなってきたかと思いますが、9月もまだまだ残暑が続きます。季節の変わり目で体調を崩さないようにお気を付け下さい。今月は、子どもたちも大好きな“冬瓜”を使った料理を紹介します。冬瓜は“冬”という字が名前にありながら夏野菜のひとつです。

なぜ、“冬”とつくのかというと、“冬まで保存できる”からだそうです！

冬瓜はビタミンCが豊富で、風邪の予防が期待でき、ほとんどが水分なので、夏の終わりにほてった体を冷ましてくれる効果もあります。

是非、冬瓜を使ったお料理試してみてください♪

金子 愛美



きりとり線

※このレシピは切り取って、お使いください。

☆とうがんのそぼろあんかけ☆

人気メニュー紹介



〈材料〉冬瓜…150g 鶏ひき肉…20g だし…200ml 片栗粉…大さじ2
油…大さじ1

A 〈しょうゆ…大さじ3 砂糖…大さじ2〉

〈作り方〉

- ①冬瓜を1cm角のサイコロに切っておく
- ②鶏ひき肉を油で炒め、①とだしをいれて冬瓜がやわらかくなるまで煮込む
- ③②にAを加え、5分ほど煮込む
- ④水で溶いた片栗粉を加えてとろみをつけたらできあがり！

☆1人分の量で紹介しています。味付けは控えめなのでお好みで調節してください♪



めばえ

今月のねらい「気温・水分補給に配慮しながら、園庭遊びを楽しむ。」

今月のうた「どんぐりころころ」わらべうた「あんよはしょうず」

めばえさんも、力強く足を使えるようになりました。今ではつかまり立ち・伝い歩きブームとなり、あちらこちらにつかまって立っては嬉しそうな表情を見せてくれます。また、少し成長の早いおともだちは、築山に登れるようになったり、小走りができるようになったりと新しく出来ることが増え、嬉しそうです。私たち担任も日々発見がありわくわくします。わらべうたも大好きで、ひとりの子と遊んでいると「私も!!」「もう一回!!」と集まって来てくれます。今のブームは「いっぼんぼし」です。めばえのドアに掲示していますので、是非いろいろなわらべうたをお家でも遊んでみてください。

9月に入りましたが、まだまだ暑い日は続きます。今まで同様こまめに水分補給し、手足口病のケアもしっかりしながら、園庭に出てたくさん歩いて、たくさん遊んでいきたいと思います。帽子のご用意・お洗濯をお願いします。

丹波 優衣



ふたば

今月のねらい「少人数でお散歩を楽しむ」

9月のうた「おおきなくりの木の下で」わらべうた「オッタコ」

夏の遊びでは、回数を重ねるごとに、顔に水がかかっても平気になり、バケツに入れたお水を自分で頭からかけてしまえるほどのなりました。室内では、水筆や粘土など様々なものに興味を持って遊んでいます。お友だちのお名前もよく覚えてきていますし、言葉もだんだんと増えてきていてお話するのがとても楽しいです。9月は、目標にもありますようにバギーや少人数で交通公園や園の周りのお散歩に出かけ、外の世界を体験したいと思っています。

足立 真裕子



今月のねらい「友だちと関わりながら楽しくあそぶ」

今月のうた「とんぼのめがね・きのこ」

八月は、プール遊びを楽しみ、園で育てた野菜を使い野菜スタンプ、大きな模造紙を広げボディペインティングにも挑戦し、いろんな体験をしました。最近は友だち同士の関わりも増え毎日にぎやかに過ごしています。また秋祭りに向け8月中旬より幼児さんと一緒に盆踊りの練習に参加しています。

一生懸命、先生や幼児さんを見て踊っている姿はとても可愛らしいです。秋祭りの日が楽しみです。

今月から少しずつ、幼児クラスの準備をしていきます。自分で着替えの洋服を用意していきます。

子どもたちがロッカーから取りやすいようにかごに用意をお願いします。

筒井 若菜

つぼみ



幼児

いぶき：身の回りのことを丁寧にする

ひかり：リズムに合わせて体を動かすことを楽しむ

だいち：想像したことを様々な形で表現する

8月頃から「大きな木」というテーマでギャラリーへ向けての作品を作っていました。そのために、市役所まで散歩に行き、大きなクスノキを見て、触ったり匂ったり、友達と手を繋いでどれぐらいの太さなのか子どもたちが実際に触れて確かめていました。それと同時に、エネルギーの話を子どもたちとしました。「エネルギーってなに？」から始まりましたが、最後には、子どもから「自転車だとガソリン使わないからいいね。」という意見も出てきました。自然に触れる中でエネルギーについてさらに考えられるように発展させていこうと思います。

須藤 聖美

